

第6章 語用論

1. はじめに 語用論とは何か

「1000円からでよろしかったでしょうか」。店で買い物をして、レジで1000円出した客に対するレジの人のことばです。この言い方は全国各地で聞かれるようになります。これに対して、「から」は無意味だから必要なとか、現在のことなのに過去形はおかしいと批判し、今の若者のことば使用いは乱れていると嘆く人もいます。これは、ことばを文法(ことばの内的構造の研究)という観点から見た場合の考えです。しかし、話し手は、いつも文字どおりの意味でことばを使うとは限りません。この「から」は客が出したお金が1000円であることを強調し、確認する機能があると考えられることができます。また、現在のことなのに過去形「よろしかった」を使うのは、直接を避けた丁寧表現と見ることもできるでしょう。英語でも、Can you help me? よりも can の過去形 could を使った Could you help me?の方がより丁寧ですよ。

このように、コミュニケーションの現場では、文法では説明がつかないようなことばの使い方がよく出てきます。このような、文法以外のことば使用の法則を研究する学問を語用論(pragmatics)といいます。ここではまず、文の語用論的解釈と、語用論が問題にする具体例を挙げて語用論への導入をします。次にグライスによる会話の格言・会話行為・ポライトネス理論を紹介します。最後に語用論標識(談話標識)についても少し述べます。

2. 文の語用論的解釈

語用論による文の解釈は、文法的分析によるのではなく、前提となる一般論的考えによっています。たとえば、次の二つの文を考えてみましょう。

(1) a The judge denied the prisoner's request because he was cautious.

裁判官は、彼が用心深かったので、囚人の要求を断った。

b The judge denied the prisoner's request because he was dangerous.

裁判官は、彼が危険だったので、囚人の要求を断った。

この二つの文は、最後の形容詞 cautious (用心深い) と dangerous (危険な) 以外は全く同じ文です。文法的には、(a) と (b) の he がそれぞれだれを指すかを知る手がかりはありません。にもかかわらず、(a) の he は裁判官を指し、(b) の he は囚人を指すことはだれにもわかりません。これは、社会における裁判官と囚人の性質や特徴に対する一般的考え、つまり裁判官は用心深く、囚人は危険であるという考えによっています。

次の文はどうでしょうか。

(2) a Have you **stopped** exercising regularly?

規則正しい運動はやめたのですか。

b Have you **tried** exercising regularly?

規則正しい運動をしようとしたことがありますか。

動詞 stop を使うと、聞き手が規則正しく運動してきたことが話し手の前提になります。動詞 try はそのような前提とは関係ありません。次の文を見ましょう。

(3) a Nick **admitted** that the team had lost.

ニックはチームが負けたことを認めた。

b Nick **said** that the team had lost.

ニックはチームが負けたと言った。

admit を使うとチームが負けたことが話し手の前提になりますが、say を使うとそのような前提はなく、話し手は単に事実を述べているだけです。もう一つ挙げます。

(4) a Abraham Lincoln was **assassinated** in 1865.

エブラハム・リンカーンは1865年に暗殺された。

b Abraham Lincoln was **murdered** in 1865.

エブラハム・リンカーンは1865年に殺された。

assassinate を使うと、リンカーンが傑出した人物だったことが話し手の前提になります。murder を使うとそのような前提はありません。このように、動詞一つ変えるだけで、話し手の前提を含むかどうかの違いが現れます。

3. 語用論が問題にする具体例

たとえば、次のような例は語用論にかかわっています。

(5) パーティーで、田中さんが「今日の料理はA子がついているよ」と言ったのに対し、鈴木さんが「今日は胃腸薬を用意した方がいいな」と言ったら、A子は料理が上手でないとという意味である。

(6) 満員電車で人の足を踏んでしまったとき「足を踏んでしまってごめんなさい」と言えば、これはおわびの行為である。「AさんはBさんに足を踏んでしまったことをあやまった」はおわびの行為ではない。

(7) 「二人は夫婦であることを宣言する」は、カトリックの司祭が言えば、結婚式での行為であるが、8歳の子供が言ったら、そうではない。

(8) 「どちらまで？」というあいさつ表現に対する適切な答えは「ちよつとそこまで」であり、たとえば「有楽町まで」は不適切な答えである。

(9) 招待した人が客に対して「何もありませんが、どうぞ」と言ったとき、客が「あるじゃないですか」と言い返すのは不適切である。

この(5)から(9)の例は、次のように解釈できます。

(5) 人のことには、実際に言っていないことをほめかすことがある。

(6) 文を言うことで、言うだけでなく、することができ。

(7) 会話における参加者の性質が、言ったことの効果を高める。

(8) 質問に対する正しい答えが適切とは限らない。

(9) 話し手は、文字どおりの意味で言うとは限らない。このようさまざまな会話の例をもとに、グライス(Grice 1989)は会話の格言を提示しました。

4. グライスによる会話の格言

(5)から(9)の用例は、グライスによる会話の格言(Conversational Maxim)にもとづいています。これは、会話において話し手と聞き手が意思疎通しあうために必要な協力の原理(Cooperative Principle)です。

(10) グライスの会話の格言

- ① 量の格言(Maxim of Quantity)
話者は情報をできるだけ多く知らせなければならぬ。
- ② 質の格言(Maxim of Quality)
話者は真実を伝えなければならぬ。
- ③ 関係の格言(Maxim of Relation)
話者は関係のあることを言わなければならぬ。
- ④ 態度の格言(Maxim of Manner)
話者は明確に言わなければならぬ。

たとえば、(9)の「何もありませんが、どうぞ」は、②の「話者は真実を伝えなければならぬ」に明らかに反しています。しかし、日本社会では通じます。さらに、これらの格言に故意に反する発言をすることで、聞き手に何らかの意図を伝えることもできます。たとえば、次の例から、前の人に反応したあとの人の意図を考えてみましょう。

(11) 会話の格言の例

(1) 田中さん「何を読んでいるの？」 鈴木さん「本だよ」

田中さんは鈴木さんに何を読んでいるか(本の題名か本の内容)を聞きたかったのですが、鈴木さんは「本」と答えました。これは①の量の格言に反します。鈴木さんは読書の邪魔をしてほしくなかったと考えられます。

(2) 学生「宮城県の県庁所在地は宮城です」(実際は仙台)

先生「そうですか。三重県の県庁所在地は大津です。どうですか」(実際は津)

学生が宮城県の県庁所在地をまちがえたのに対し、先生も三重県の県庁所在地をわざとまちがえました。これは②の質の格言に反します。先生は学生に、まちがっていることをわからせたかたと考えられます。

③ 夫「今何時？」 妻「エーと、朝刊はもう来たわよ」

夫が時間を聞いたのに対し、妻は時間以外のことを答えました。これは③の関係の格言に反します。妻は夫に、正確な時間はわからないが、朝刊が毎日来る時間は過ぎていくこと伝えたかったのでしょうか。

④ 夫「どこかで何か食べよう」

妻「ええ、でも エム・エー・ケー・ユー(MAKKU)はだめよ」
(日曜日のドライブ中、幼稚園の子どもと一緒に車に乗っている)
夫がどこかに立ち寄って何か食べようと言ったのに対し、妻はマックの綴りを言いました。これは④の態度の格言に反します。妻は子供に、マクドナルドで食べさせたくなかったと考えられます。あとの人の意図をもう一度まとめます。

① 読書の邪魔をするという要求

② まちがいをわからせようという忠告

③ だいたい時間を伝えようとする示唆

④ 子供にハンバーガーを食べさせないようにしようという示唆

これらの要求や忠告、示唆はみな、会話を使った行為(傍線部参照)と見ることができません。

5. 会話行為

話し手は、発話によって、依頼したり、命令したり、質問したり、知らせたりといった行為をしています。この行為を会話行為(speech act)といいます。たとえば、みなさんが「6時にそこに行きます」と友だちに言ったとします。それは発話(言う行為 locutionary act)であるだけでなく、「約束」という会話(による)行為(する行為 illocutionary act)をしていることとなります。

5.1 会話行為の種類

会話行為には次のようなものがあります。

(12) 会話行為の種類

- a 叙述的 (Representative)
状況を記述する行為。叙述、否定、告白、容認、告知、結論、予測など。
- b 指図的 (Directive)
聞き手に指図する行為。要求、命令、禁止、警告、忠告、示唆、主張、推薦など。
- c 質問 (Question)
聞き手に情報提供を求めめる行為。
- d 専心的 (Commissive)
話し手が何かに専心する行為。約束、誓約、申し出、保証、確約など。
- e 表現的 (Expressive)
話し手の心の状態を表現する行為。お詫び、感謝、賛美、お悔やみ、招き、悲嘆、反対など。
- f 宣言 (Declarative)
状態を変える行為。任命、命名、辞任、降伏、破門、逮捕など。

実例は、練習問題2を見てください。

5.2 直接会話行為と間接会話行為

会話行為は直接会話行為と間接会話行為に分けられます。次の文の構造と機能を使ってそれぞれを説明します。

(13) 文の構造と機能	例文	構造	機能
ピザを食べた？	疑問文	疑問する	
ピザを食べなさい	命令文	要求する	

きのうピザを食べた 平叙文 叙述する

(13)の表の構造と機能を横に見てみましょう。疑問文が質問するために使われるとき、命令文が要求するために使われるとき、平叙文が叙述するために使われるとき、これらを直接会話行為 (direct speech act) といいます。たとえば、相手が自転車に乗れるかどうか聞きたいとき、「自転車に乗ることができですか」と聞いたら、これは直接会話行為です。しかし、自分の行きたいホテルが見つからないとき、通りかかった人に「ホテルはどこか知っていますか」と聞いたら、これは相手がホテルの場所を知っているかどうかという質問ではなく、ホテルの場所がどこにあるのかを教えてほしいという要求を表しています。これを間接会話行為 (indirect speech act) といいます。要求は、命令文の持つ直接会話行為機能で、たとえば Open that door for me! と言えば直接の要求になりますが、これを疑問文で Could you open that door for me? と言えば間接会話行為としての要求となり、直接を避けた、より丁寧な言い方になります。

6. 丁寧表現

「丁寧」という語は、一般的には「注意深く念入りであること」「人に対して親切で礼儀正しいこと」をいいます。しかし、語用論で「丁寧さ (politeness)」あるいはポライトネスとえば、「対人関係を円滑にするための社会的言語行動」を指します。ブラウンとレビンソン (1987) によるポライトネス理論 (Politeness Theory) では、人間は二つの顔 (face) あるいは公的自己イメージ (public self-image) を持っていると考えます。それは、否定的顔 (negative face) あるいはネガティブフェイスと、肯定的顔 (positive face) あるいはポジティブフェイスです。ネガティブフェイスとは、「他人に邪魔されたくない、立ち入られたくない、強制されたくないという気持ち」のことです。ポジティブフェイスとは、「他人に理解されたい、賞賛されたい、好かれたいという気持ち」のことです。この二つの顔に配慮すること、つまり強制を避けたり賞賛したりする行為を顔を保つ行為 (face-saving act) といいます。逆に、この二つの顔に配慮せず、強制したり批判したりする行為を顔をかす行為 (face-

threatening act) といいます。

二つの顔のうち、ネガティブフェイスを保つ行為は日本的な丁寧さに結びつきます。命令形による直接要求はネガティブフェイス(強制されたくない気持ち)を脅かす行為ですが、命令形を疑問文にするとネガティブフェイスを保つ行為になります。その他、ネガティブフェイスを威かす行為を保つ行為には、どのような方法があるでしょうか。ブラウンとレビンソンによる方法を日本語に当てはめてみましょう。

6.1 ネガティブフェイスを保つ方法

以下の六つにまとめました。なお、以下の例文の言い替え文は、下になれはなるほど、より丁寧になります。

(14) ネガティブフェイスを保つ方法

①命令文を疑問文にする。

例: 窓を開けなさい

→窓を開けてくれない?(疑問文にする)

窓を開けてくれませんか。(丁寧語「ます」を使う)

窓を開けてくださいますか。(尊敬語「くださる」を使う)

窓を開けていただけませんか。(謙譲語「いただく」を使う)

窓を開けていただくことはできませんでしょうか。

(相手が要求を受け入れられることに対して悲観的になる)

②要求の受け入れに恩恵をこうむる表現にする。

例: 窓を開けなさい。

→窓を開けてくれるとありがたいです。

窓を開けてくださるとありがたいです。(尊敬語「くださる」を使う)

窓を開けていただけるとありがたいです。(謙譲語「いただく」を使う)

③要求の押しつけを最小限にする。

例: 質問に答えてください。

→よろしければ、質問に答えてください。(「答えない」という選択

肢も含ませる)

よろしければ、質問にお答えください。(尊敬語「お」をつけて敬意を払う)

④要求の前に謝る。

例: 書類を提出してください。

→すみませんが、書類を提出してください。

申し訳ありませんが、書類を提出してください。(謝り方をより丁寧にする)

申し訳ありませんが、書類の提出をお願いいたします。(丁寧語「いたす」を使う)

まことに申し訳ありませんが、書類の提出をお願いいたします。(「まことに」をつける)

まことに申し訳ございませんが、書類の提出をお願いいたします。(丁寧語「ございます」を使う)

⑤「する」を「なる」にして、要求を非人称化する。

例 1: 金曜までにレポートを提出してください。

→レポート提出は金曜までになっていきます。

レポート提出は金曜日までになっております。(丁寧語「おります」の使用)

例 2: 身分証明書を携帯してください。

→身分証明書を携帯することになっていきます。

身分証明書を携帯することになっております。(「おります」の使用)

⑥断定回避(hedge)をする。

例: Aさんが悪い。

→Aさんが悪いと思います。(「と思います」をつけてやわらげる)

→おそらく、Aさんが悪いと思います。(不確定の副詞をつけてさらにやわらげる)

→おそらく、Aさんが悪いと思うのですが...(文末を濁してさらにやわらげる)

これらの方法を組み合わせると、さらに丁寧な表現になります。

(15) ネガティブフェイスを保つ方法の組み合わせ

③と①の組み合わせ

よろしければ、質問にお答えくださいますか。

④と①の組み合わせ

申し訳ありませんが、窓を開けていただけませんか

②と⑥の組み合わせ

窓を開けていただけるとありがたいのですが…

6.2 ポジティブフェイスを保つ方法

6.1のネガティブフェイスを保つ方法は、日本的な丁寧さを現しています。一方、ポジティブフェイス(理解されたい、好かれたいという気持ち)を保つ行為は積極的な丁寧さに結びつき、アメリカ的です。ポジティブフェイスを保つ方法をいくつか挙げます。

(16) ポジティブフェイスを保つ方法

①フアーストネームで呼び合う。

日本人にとっては、気安すぎで、なかなか丁寧には結びつきませんが、アメリカ社会では、フレンドリーさが積極的丁寧さを表します。私の場合、Sukenariはアメリカ人にとって発音しにくいようなので、Nariと呼んでもらうことにしました。

② Thank you を多用する(感謝する)。

日本人の「ありがとう」よりもアメリカ人の thank you の方が会話に多く現れる傾向にあります。How are you? に対して Fine thank you, and you? という決まりきったフレーズにも出てきます。一方日本では、「調子はどう?」と聞かれて「いいよ、ありがとう」とは言いません。英語では、断るときにも No thank you と言います。アメリカでは、とにかく Thank you very much を連発していればまちがいなさそうです。

③相手に興味を示し、ほめる。

アメリカ人は I really like your tie (ネクタイ、いいですね)などのほめことばが口をついて出てきます。これは日本人にはあまりない習慣です。アメリカ

カでは、持ち物、服装、髪型など、何でもいいですから(うそでもいいです!)、とにかくほめまくることにしましょう。

④相手の好みを聞く。

アメリカ人の家に招待されると、食べる前に「飲み物は何にする」とよく聞かれます。相手の好みを尊重し、それに従ってもてなすのがアメリカ流の丁寧さです。こちらから積極的に「何があるんですか」などと聞いて、飲み物を出してくれたら感謝していただきます。

⑤冗談を言う。

アメリカ人はほんとうにおしやべりとジョークが好きで、だいたい1分に1回はジョークを言っているようですが、なかなか聞き取れません。自らジョークを言ってアメリカ人を笑わせることができますようになったらいいですね。

最後に、日本語の非常に丁寧な表現の例として、川端康成の『雪国』に登場する葉子の会話を引用します。ここで葉子は、弟の世話をしている駅長に対して感謝の意を表しています。

(17) 「弟が今度こちらに勤めさせていたでいておりましたのでつね。

お世話様ですわ。」

「こちら」「です」は丁寧語、「勤めさせていたでいております」は謙譲語、「お世話様」は尊敬語で、まさに敬語のオンパレードです。この丁寧表現は、英語ではどうなるのでしょうか。サイデンスティッカーは、ここを次のように英訳しています。

(18) "I understand my brother has come to work here. Thank you for all you' ve done."

直訳：私の弟がここに働きに来ていると理解しています。あなたのためにしたすべてのことに対して感謝します。

まず、I understand をつけることによって断定を回避しています。これはネガティブフェイスを保つ方法の⑥「断定回避」による丁寧の方法です。さらに、all you' ve done (あなたがしたすべてのこと)を thank you に付け加えることで、感謝の気持ちがとても強くなっています。これは、ポジティブフェイスを保つ方法の②「感謝」による丁寧の方法です。ネガティブとポジティブ

プの二つの方法を使って、日本語の丁寧表現をみごとに英語に移し変えていますね。

7. 語用論標識

会話で使うことばの中には、話し手の態度や感情を表すことばがあります。これを語用論標識 (pragmatic marker) あるいは談話標識 (discourse marker) といいます。その中には、書きことばで使うときとは用法が変化したのももあります。ここでは、「しかし」と「でも」を取り上げ、その談話分析 (discourse analysis) を紹介します。

7.1 「しかし」

「しかし」は書きことばでは逆接の接続詞で、前の文と後の文が反対の関係にあることを示します。

(19) 私たちは高円寺の安いバーで飲んでいた。しかし、それでも酒屋で買う酒よりも料金は高い。
(阿刀田高『影絵の町』)

この「しかし」は、「安い」しかし「高い」というように、反対の内容をつないでいます。

一方、会話では次のような用法があります(括弧内の数字は秒単位の間の時間を表します。「:」は母音を伸ばす記号、下線は強調されているところです)。

(20) (H代議士の50年間にわたる政治家としての活躍のビデオを見たあとで)

A: Hさんっていい方ですね：ほんとに(0.2)すなおにお気持ちを出す方ですね；

B: でもあの(0.2)お話しをなさっていることに(0.2)あの(0.2)字幕がついているところが(笑い)ひどいですね

A: (笑い)そうですか(2.0)で笑いがやんで、息継ぎ0.5)しかし50年といますとたいへんなことですよ；

(「ブロードキャスター」より。A: 福留功男アナウンサー、B: 石坂啓さん)

この「しかし」は、笑いと息継ぎのあと、発話の最初にきています。ですから、前の文を受けて逆の関係を示しているわけではありません。「たいへんなことですよ:」の最後の「よ:」は話し手の感動を表すことばですので、この「しかし」も話し手の感動を表していると考えられます。話し手は、直前に見たビデオのシーンを頭に思い描き、H代議士が50年間に政治家を続けたことに感動しています。この「しかし」は、「それにしても」に置き換えることができます。

7.2 「でも」

次に「でも」の例を挙げます。「でも」は「しかし」と同じく逆接を表しますが、「しかし」よりも口語的です。次の例は小説からですが、「でも」は会話文の中に出てきます。

(21) 「なんだかゴチャまぜ料理みたいね」「でも、とにかくおいしいのよ」
(阿刀田高『影絵の町』)

この「でも」は「ゴチャまぜで印象が悪い」でも「おいしい」というように、反対の内容をつないでいます。

一方、会話では次のような用法があります(「=」は前後の会話が間髪を入れず続くことを示します)。

(22) (AとBの話題は、Bの弾くバイオリンについて。Bの小学校時代のテレビコマーシャルが会場のテレビに映る。その中でBがバイオリンを弾いている。その映像が終わって)

A: は:::(会場拍手)でもね(0.1)あんなかなかでいちばん注目したいのはやっぱバイオリンだね(0.3)

B: ん::=

A: =似合うもの(0.2)あれで尺八なんかぶ::て(0.1)絶対似合わないもの

B: (笑い)

(「おしゃれカケンケイ」より。A: 古館伊知郎(ホスト)、B: 宮沢りえ(ゲスト))
この「でも」も(20)の「しかし」と同じく、会場の拍手が鳴り終わったあとの発話の最初にきていますので、逆接の「でも」ではありません。「あんな

なかで」とありますので、話し手は直前に見たビデオのシーンを頭に思い描き、Bがバイオリンを弾いている様子が似合っていることに感動して「でも」を使っています。

(20)の「しかし」と(22)の「でも」の共通点は、話し手が直前のビデオのシーンを思い描いて感動的に使っている点です。

談話標識には、これ以外に「だから」「ちょっと」「だって」「さて」「ね」「よ」などがあります。

8. おわりに

私は、日本語で何か意見を言ったりするとき、文末に「と思います」をつけることが多いので、英語でも、どうしてもI thinkをつけて話すことが多いくなります。アメリカ人にとっては、これが耳ざわりなようで、I thinkは必要ないと言われたことがあります。文末に「と思います」をつけるのは、日本ではネガティブフェイスを保つのに役に立ちますが(⑥)の「断定回避」の方法です)、英語では通用しません。また、日本では自分の妻のことを「愚妻」などと謙遜して言いますが、英語で自己紹介するときには、まさかI have a foolish wifeとは言えませんので、私は思い切って、I have a beautiful wife などと言ったことがあります。これは、英語ではポジティブフェイスを保つ表現なので(③)の「他人をほめる」方法です)歓迎されました。でも、日本語では「私は美しい妻がいます」とはなかなか言いにくいんですね。ところが変われば語用も変わる。語用論の実践はむしろかかいいいものです。

第6章のキーワード

語用論 グライス 会話の格言 協力の原理 量の格言 質の格言 関係の格言
態度の格言 会話行為 言う行為 叙述的行為 指図的行為 質問 専心的 表
現的 宣言 直接会話行為 間接会話行為 丁寧さ(ポライトネス) ポライトネス
理論 顔 公的自己イメージ 否定的顔(ネガティブフェイス) 肯定的顔(ポジ
ティブフェイス) 顔を保つ行為 顔を脅かす行為 断定回避 語用論標識 談話
標識 談話分析

参考文献

- Brown, Penelope and Stephan C. Levinson. 1987 [1978]. *Politeness: some universals in language usage*. Cambridge: Cambridge University Press.
- 「ポライトネス理論」を61-65ページより引用。「ネガティブフェイスを保つ方法」については129-210ページを、「ポジティブフェイスを保つ方法」については101-125ページを参照した。
- Grice, Paul. 1989 [1975]. *Studies in the Way of Words*. Cambridge, Massachusetts: Harvard University Press.
- 「協力の原理」、「会話の格言」を26-28ページより引用。
- O'Grady et al. 2005. *Contemporary Linguistics*. Fifth Edition. Boston/ New York: Bedford/ St. Martin's.
- 例文(1)~(4)を229ページより引用。
- Parmer, Frank and Kathryn Riley. 2005. *Linguistics for Non-Linguist*. Fourth Edition. Boston: Allyn and Bacon.
- (5)~(9)、(11)、(12)と、練習問題の2をChapter 2 Pragmatics (9-30ページ)より引用。
- Yule, George. 2006. *The study of language*. Third Edition. Cambridge: Cambridge University Press.
- 5.2の(13)と「直接会話行為」、「間接会話行為」を118ページより引用。
- 小沢裕子「ポライトネス理論から見た「タメ口」の考察：日英の積極的ポライトネス比較」2002年 <http://www5a.biglobe.ne.jp/~hippo/tameguchi.htm>
- 「ネガティブフェイス」、「ポジティブフェイス」の定義、「6.2 ポジティブフェイスを保つ方法」の①~⑤を引用。
- 日野資成 「「しかし」と「でも」の談話分析」『福岡女学院大学紀要人文学部編』13号 2003年 (19)~(22)を引用。
- 日野資成 「日英比較言語学の実践IV —『雪国』とSnow Countryを比較して—」『福岡女学院大学紀要人文学部編』17号 2007年 (17)、(18)を引用。
- 推薦図書
- 若者ことばについて研究したい人に
⇒ 『若者語を科学する』 米川明彦 1998年 明治書院
- 若者ことばの使い方を知りたい人に
⇒ 『若者ことば辞典』 米川明彦 1997年 東京堂
- 談話分析を研究したい人に
⇒ 『デイスコース』 橋内武 1999年 ころしお出版
- ⇒ 『談話言語学』 泉子・K・メイナード 2004年 ころしお出版